

参加者、

青木、石川、北島、鈴木、島崎、中島、  
中野、松田、町田、山崎、吉野、遊佐、  
(なお遊佐さんは今月より会員です)

BMW RS Club

July 13, '96

佐久より小海線沿いに南下、  
馬越峠、信州峠から甲府へ  
担当、石川 進

# かわらばん

東京の下町に夏の訪れを告げる風物詩。入谷「鬼子母神」の朝顔市が六日から始まり、幾百もの鉢が道や棚に並べられ、そのすぐ後には浅草寺境内でのホオズキ市、いわゆる四万六千日も開かれました。赤い丹波や青い千成ホオズキが、おりからの雨に濡れて裸電球に光っていました。  
「お暑うございます。四万六千日です。」と始めると“いかにも暑いな”と感じさせる嘶家が居ましたが、まさに夏本番です。

七月七日の七タッーリング当日が、今年の梅雨を締めくくる最後の雨模様となり、予備日の13日（第二土曜日）に催行されました。梅雨明け宣言が出されてないものの、我がRS測候所は梅雨明けと確信し、この日を待っていた9台のBMWが三芳SAに集合しました。  
考えることは誰しも同じか、久々の天気に朝から道が込み合って遅刻者もあり、(私も少々遅れました)、更に必ず来るはずのNさん(きらきらバイクの人)が来ず、結局は待ち切れずに出発しました。後で奥さんに電話をしたら、家にバイクが有ること。ネ～どこに居たの?  
第二集合地の上里SAに着くと、既に中野、町田、松田さんがシビレを切らして待って居ました。すぐに佐久ICへ向けて出発です。合計12台が私を最後にして、高速に飛び出て行きました。見事な晴天ですがソヨとの風も無く、松井田を過ぎて左手に見えて来た妙義山が、少し霞んで見えました。この上信越道は小諸市まで出来上がり、互いに“降り口を間違えるなよ～”と確認しあいながら全車が無事に佐久で高速を降りました。

佐久を出て左に走り、いよいよ小海線に沿って南下の始まりです。暑いので脱水症状を起こさないように、十分に水分の補給をしようという事で、先ず小海線の臼田駅前で休憩をし、木陰で冷たいものを飲んでから、“もうここに来ることもないだろうから”と皆で記念撮影です。

少し走って奇麗な流れの千曲川の鉄橋を渡りました。「千曲川いざよう波の岸近き宿に上りつ、濁り酒にごれる飲みて云々」という、「千曲川旅情の詩」が柄にもなく口をついて出て来て、島崎藤村にでもなったような気分でした。満々と水をたたえ田甫の中には、3～40センチに伸びた稲が、その緑の新芽を風にそよがし、なんともものどかな田園風景です。  
麦草峠へ行く時に通る八千穂をかすめ、南相木(みなみあいき)のサインを見ながら馬越峠に入りました。石川さん以外は誰一人として走ったことも無い処で、凄いカーブの連続に無線で話す人も居ません。4～5日前の雨で心配された道は、幾らか砂が浮いて居る程度で、対向車も殆ど来ないような峠でした。途中で谷底を覗くと、古代杉の群棲と思われるような、深い緑の谷に引き込まれるかのようで、馬越峠という名前がピタリとくるような所でした。

南牧村から川上村に下って一休み。みんながホット顔を見合わせ「いや～スゴカッタね～」とニコニコしながら冷たいものを飲んで、今越えて来た峠の話をしました。

ここから更に一時間ばかり走ると、昼飯の葦崎に近い双葉です。増富、信州峠、高登谷高原というサインを見ながら、信州峠への上りにかかりました。途中のダムの辺りは秋の紅葉が素晴らしいと、北島さんが言っていましたが、さもありなんといった感じの処でした。

これで今日のメインコースは終わり、何やら用事の有るという石川さんが、飯も食わずに帰つて行きました。ゴクローさんでした。山を下り暑い国道を走って、双葉町の「小作」という大きなホウトウ屋に入りました。とてもホウトウ屋とは思えない造りです。

塾瓜(ぶくちや)ホウトウという大きなノレンがかかり、これまた大きな水車が回って居ます。  
有名な甲府盆地の暑さでうだりそうですが、中はヒヤリと冷えていて、さっそくに冷ヤッコを肴に冷たい生ビールで乾杯です。五臓六腑にしみわたります。馬サシに沢蟹のカラ揚げ、そして焼きナスも並び、心地良い走りの後だけに、誰もがこの上も無く満足しているように見えました。そして最後に名物ホウトウの煮えたぎった鉄鍋が、「熱いから気を付けてよ～」というオバチャンの言葉と共に出てきました。見るからに熱そうです。

私は終戦の年に母と兄とで、ツテを頼って山梨に引っ越していく、余りにまずいホウトウをいつも食わされ続け、ホウトウには暗くて切ない思い出ばかりでしたが、久々のチャンコ・ホウトウ(かぼちゃ抜き)は、当然のようにダシも効いて具もうまく、平和の有り難さ?を感じさせられました。(お前はいつもオーバーなんだよ。たかがホウトウだぞ。ぶマセ!)。

冷えた処から鍋底のような暑さの中に出て来て、飲み食いしたものが全部、汗になってしまふかのようでした。ちなみにこの日の甲府は34度も有ったと後で知りました。

甲府昭和ICより中央高速に入り、未だ早くて空いた道を快調に飛ばして談合坂SAへ一飛び。ここでお別れ会をして、各々が4時に自宅へ向かいました。お盆で多摩霊園方面からの帰りが多く、東京に近付くにつれて少々道が込み合いましたが、5時頃には無事に帰りました。

暑さの中をご参加下さった皆さん、そして滅多に走れないようなコースを探して下さった石川さん。本当に有り難うございました。8月は暑いので休み、次は9月1日です。